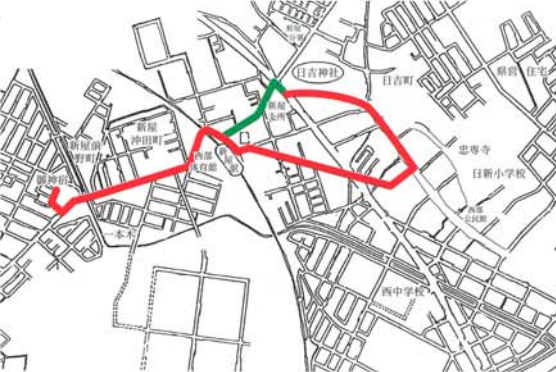


5月25日(日)御差鉾御巡幸順路

(往路) 日吉神社→表町→森川酒造右折→天龍寺→旧国道→新屋駅→豊岩踏切→宝生酒店前→御神宿
 (復路) 御神宿→宝生酒店前→西部体育館前→ナイス→神社御還御

ご巡幸予定時間

18時30分	神事開始	20時05分	宝生酒店前
19時20分	神社出発	20時15分	御神宿到着
19時30分	表町	21時00分	御神宿出発
19時40分	天龍寺	21時15分	宝生酒店前
19時55分	新屋駅	21時30分	神社御還御

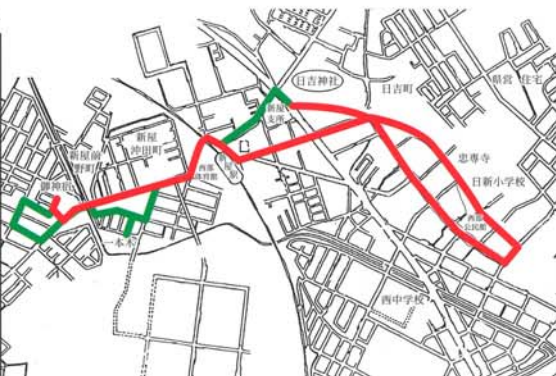


5月26日(月)例大祭御巡幸順路

(往路) 日吉神社→表町→加藤仕出店→忠専寺→大門商店→旧国道→旧駅前通り→新屋駅→宝生酒店→御神宿
 (復路) 御神宿→一木本→豊岩踏切→ナイス→神社御還御

ご巡幸予定時間

10時00分	神事開始	12時20分	大倉オート
10時50分	神社出発	12時30分	御神宿到着
11時00分	表町	13時30分	御神宿出発
11時10分	秋田銀行	13時50分	一木本到着
11時20分	加藤仕出店		
11時30分	元日新保育園	14時20分	一木本出発
11時40分	打矢電気	14時35分	西部体育館
11時55分	新屋駅	14時50分	ナイス
12時05分	豊岩踏切	15時00分	神社御還御



平成二十年 山王祭

平成20年

発行 日吉神社
 住所 秋田市新屋 日吉町10-67
 電話 018-828-3033

統前町 田尻沢町 頭人役 佐藤 金一氏
 祭典委員長 鈴木 春六氏 当番組 駅前町 沖田町
 祭典実行委員長 遠藤 一記氏 高美町 南団地町

本年の山王祭は、田尻沢町が統前町となつて行われます。町内会館を御神宿として、頭人役を佐藤金一町内会長にお務めいただきます。
 神社や表町通りから町内会館までの距離がかなりあるので、特に二十五日の御差鉾の行列は、表町通りから英雄酒店の角で折れて、天龍寺の前を通り、駅前を経由して、統前町に向かいます。
 尚、奉納舞台は、神社の境内に立ちます。年に一度の新屋のお祭り、心に残る行事となるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

町内対抗あらやばやしコンクール

平成十八年から始めた「町内対抗あらやばやしコンクール」も、今年で三回目となります。

山王祭には、神社の御神位をミコシにお遷して町内を巡ります。お祭りで若返つた御神威の籠もつた「祭典霊符」をお配りします。左の袋に初穂料を入れて、ミコシのお供の者に渡すか、神社社務所へお持ち下さい。袋は神社に用意しております。



平成十九年 地元自慢標語コンクール金賞作品

- 四年生 おびじょうのさくらの木の下歩く道 友と未来の 夢語る
- 五年生 おまつりで みこしかついだ あらやっこ
- 六年生 海風を 今でも防ぐ 松林 先人の願い 明日へと伝える
- 中学校二年生 開かさや 小鳥さえする 余楽庵



5月26日は 新屋のお祭りです

日吉神社の御神輿を担ぐ会『新興連』では担ぎ手を募集しております。詳しくは『新興連』担ぎ手担当ヘライまで 携帯090-8781-1886 又はPCメールdsfa@cna.ne.jp までご連絡下さい



練習会風景

今年へ去る三月十六日から練習会をスタートし、熱心な町内では、早くもメンバーが揃って演奏できるようになつてきました。

昨年の成績
 一位 下表町
 二位 田尻沢町
 三位 日の出町

第三回コンクール開催要項
 日時 五月二十五日 午後二時より
 場所 神楽堂

◆山王祭に向けて、毎週日曜日夕方、神社に集まり「あらばやし」の練習をしています。◆初回に「うまく音が出ない」とベそをかいていた子が、一ヶ月ですっかりマスターして楽しそうに笛を吹いている様子を見ると、子供の可能性の力に感心させられます。◆理解したい残酷な事件が今年も相次いでいます。欲や身勝手さが生み出す事件が新聞紙上を賑わします。◆人間の心は、一色に塗り尽くされるほど単純な物ではありません。どんな立派な人でも、悪心のかけらも無い人はいないし、どんなに非道な悪人にも一片の良心はあります。◆まして凡人たるもの、目先の愉しさに浮かれ、あぶく銭が転がり込んできそうだとすると、ついウカウカ。という事は、無いことではありません。◆問題はその時に「イヤ待てよ」と心にブレーキをかけるか、「いいやこれだ」と心の赴くままに流れに身を任せてしまうか。◆「子は親の鏡」。「親の後ろ姿を見て子は育つ」とは、昔からの教えです。◆子供の旺盛な可能性は、プラスにもマイナスにも伸びます。マイナスに振れないようにするのは、口先ではなく、見本になる親の行動です。◆世直しの方策は様々あるのかもしれませんが、私たちが庶民ができることは、自分の背中を見ている子供の目に恥ずかしくない行いをする事。なのではないでしょうか。

日新小五年生 田植え・稲刈り体験

神社では、平成十七年から、秋田市浜田の伊藤勝子さん(神社旧職員)の田圃を借りて、古代米「アサムラサキ」を作っています。



地元の人から教えて貰いながらの稲刈り

約五〇〇平米の田圃ですが、播種から田植え、稲刈り、ハサ掛けで天日干し、脱穀、籾摺りといった作業を、いろんな方の手を煩わせながら行っています。

日新小学校の、前々校長の芳賀龍平先生から、「日新小学校では、稲の成長を観察するのに、バケツに植えてやっている。何とかホンモノの田植え・稲刈りを体験させてやりたい」というお話を伺い、それならばこの田圃を使いましょうという話しになりました。こうして始まった五年生の田植えも、昨年で三年目となりました。

田植えでは、最初のうち泥の中に裸足で入るのを厭がった子供達も、一旦中に入ると、却って「このヌルヌル感が何とも言われない」などと言ってみたり、稲刈りでは、使い慣れない鎌で、今にも手を切るんじゃないかと心配させながら、一束ずつハサに掛ける為に運んでくる時の収穫の喜びの笑顔は印象的です。

米が出来上がると、ごく僅かではありますが、学校に持って行って昼食に食べて貰います。
この米は、秋の新嘗祭にお供えした後、関係者やお参りされた方へのお下がりとしてお配りしたり、またお酒に作って貰って、神社でのお祭りの後の御神酒として飲んで貰っています。

栗田神社賽銭箱について

新屋の町を飛砂の害から救ってくれた栗田定之丞大人を祀る栗田神社は、浜街道に沿った、北新町に隣接する場所に建っています。新屋の先輩達が、定之丞大人に感謝の心を捧げる場所として秋田藩において建てたものです。

神社に賽銭泥棒は、一種のつきもののように言われますが、栗田神社にも、時折心ない泥棒が入り、その為に、窓ガラスを割ったり、ドアを壊したりされて、甚大な被害が生じています。今般、賽銭箱を神社の前に出すことで、建物への被害を減らそうと役員会、総代会の了承をいただきました。

勿論、神社としても毎日見回りには行きますが、見通しのきく場所ですので、万一不審な者を見受けた時には、どうぞ神社までお報せ下さるよう、御協力お願い申し上げます。



平成20年 年祝会

平成二十年年度の年祝祭は、五月三日、賑々しく執り行われました。

大正十五年から始まったこの行事は、四十二才の厄年の人達が、還暦の先輩方また、三十三才の後輩、そして長寿の証である、米寿、喜寿の方々をお招きして行う、先輩後輩が心を寄せ合った新屋らしい行事です。

実行委員の四十二才の人達は、既に十数回の打合せを重ねて、この日に備えてきました。役員の皆様を御紹介致します。(敬称略)

- 会長 佐藤 琢磨
- 副会長 佐々木 勇
- 幹事長 阿部 朋範
- 幹事 相原 敦
- 石黒 亮悦
- 岡部 晃
- 進藤 雄一
- 高島 純
- 加藤 隆彰
- 高橋 健
- 池田 正人
- 板波 正人
- 小室 洋見
- 須藤喜美雄
- 渡辺 太



平成19年度祝会奉納品(今年は同様の物が建ちます)

敬神旅行会

平成十九年十月十四・十五の両日、総勢二十三名で、「岩木山神社と十和田、八甲田紅葉の旅」を行いました。天気予報は「所によって雨」と出ていましたが、秋田市では雨が降ったの

ホームページを作りました



ITとは無縁のような神社にも、時代の波は押し寄せています。

パソコンが普及して、殆どの問い合わせや情報収集が、携帯電話やコンピュータで行われるようになっていきます。

日吉神社にも、遠方から尋ねて来る方が、場所の問い合わせや、行事の質問をする為に電話をかけてくる事が多くなっています。

この度、こうした方々が、いつでも情報を取り込めるように、そして、神社の様子を広く知って貰えるように、ホームページを開設しました。山王祭の様子や、道路地図も載せてあります。また、四季折々の草花なども写真に撮って見ていただけるようにしていきます。

<http://www.hiyoshi-jinja.jp/>



真冬の訪問者

雪の量はさほど多くなかった割には、寒さが厳しい今年の冬でした。その寒さに我慢しきれなかったか、タヌキの一家が社務所の床下に住みついて、連日のお宮の前になくさんの足跡を残していました。写真は、人を恐れない子狸で、親狸二匹が隠れて呼び寄せるのに言う事を聞かず走り回っていました。



須藤禰宜さんと社殿前にて

というものもまたひと味違いますので、お誘いあわせて御参加お待ちしております。